



平成19年3月期 第1四半期財務・業績の概況（非連結）

平成18年8月23日

上場会社名 株式会社宮入バルブ製作所 (コード番号：6495 東証第二部)

(URL <http://www.miyairi-valve.co.jp/>)

問 合 せ 代表者役職・氏名 代表取締役社長 高井 洋 TEL：(03) 3535—5575

責任者役職・氏名 取締役管理部長 田宮智子

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

①会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(1) たな卸資産は、実地たな卸を行わず帳簿たな卸により算定しております。

(2) 税金費用の計算は、簡便的な方法を採用しております。

②最近会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

黄銅製品の製造過程において発生した作業屑の会計処理については、前事業年度までは売上高として処理しておりましたが、当期より売上原価から控除する方法に変更いたしました。この変更による損益に与える影響額はありません。

③持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成19年3月期第1四半期財務・業績の概況（平成18年4月1日～平成18年6月30日）

(1) 経営成績の進捗状況 (百万円未満切捨て)

	売上高		営業利益		経常利益又は 経常損失(△)		四半期(当期)純利益 又は純損失(△)	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第1四半期	1,187	(4.4)	132	(-)	△11	(-)	△32	(-)
18年3月期第1四半期	1,137	(△7.1)	-	(-)	-	(-)	-	(-)
(参考)18年3月期	5,149		304		761		476	

	1株当たり四半期 (当期)純利益 又は純損失(△)	潜在株式調整後1株 当たり四半期(当期) 純利益又は純損失(△)
	円 銭	円 銭
19年3月期第1四半期	△200	-
18年3月期第1四半期	-	-
(参考)18年3月期	2921	-

(注) 1. 売上高におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示す。

2. 前会計年度は、四半期財務諸表を作成していないため、売上高を除き、前年同四半期実績及び増減率については記載しておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益又は純損失（△）については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

4. 当四半期数値は、監査法人による監査を受けておりません。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第一四半期におけるわが国の経済は、原油価格の高騰や原材料価格および長期金利の上昇といった不安材料はあったものの、企業収益および雇用環境に改善の動きがあり穏やかながら回復基調が見られました。

このような状況下における製品種類別の概況は、以下のとおりであります。

科 目	当四半期 (平成19年3月期 第1四半期末)	前年同四半期 (平成18年3月期 第1四半期末)	増 減		(参考) 平成18年3月期
	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	増減率 (%)	金 額 (百万円)
容 器 用 弁	568	441	127	28.9	2,159
L P G 用 弁 類 ・ 機 器	472	450	21	4.8	1,841
そ の 他 弁 類 ・ 機 器	60	58	1	3.3	304
そ の 他	85	60	25	41.5	253
屑 売 上 高	—	126	△126	—	591
合 計	1,187	1,137	50	4.4	5,149

【容 器 用 弁】 一般家庭用容器用弁については、黄銅材料の価格急騰による販売価格の改正に伴う駆け込み需要の増加により当該区分の売上高は568百万円（前年同期比28.9%増）となりました。

【L P G 用 弁 類 ・ 機 器】 黄銅弁装置用弁及び鉄鋼弁装置用弁につきましては、ほぼ前年同期並みとなり、L P G 輸送用船舶用弁につきましては、大型船舶の受注等が増加し大幅な売上増となりました。また、民生用バルク用弁類につきましては、需要の減少により売上減となり当該区分の売上高は472百万円（前年同期比4.8%増）となりました。

【そ の 他 弁 類 ・ 機 器】 半導体製造設備用弁類および塩素弁につきましては、韓国向けプラント物件またメンテナンス工事等順調に推移し売上増となりました。また、消火設備用弁につきましては、客先都合による納期変更等により売上減となり当該区分の売上高は60百万円（前年同期比3.3%増）となりました。

【そ の 他】 プラントの定期検査を行う際に使用する配管弁類の部品は減少いたしましたが、一般高圧ガス用研掃機等の販売により購入品が大幅な売上増となり当該区分の売上高は85百万円（前年同期比41.5%増）となりました。

なお、屑売上高につきましては、前事業年度までは売上高として処理しておりましたが、当期から売上原価から控除する方法に変更いたしました。

(2) 財政状態の変動状況

(百万円未満切捨て)

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第1四半期	11,117	4,868	43.8	298 68
18年3月期第1四半期	—	—	—	—
(参考)18年3月期	11,423	4,459	39.0	273 71

(注) 前会計年度は、四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期実績については記載しておりません。

[財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

当第一四半期における総資産は、前事業年度末と比べ306百万円減少し、11,117百万円となりました。これは、未収入金等の減少とコモディティ・スワップ等の時価評価額が増加したことによるものであります。

負債につきましては、前事業年度に比べ715百万円減少し、6,248百万円となりました。これは、未払金等の減少と会社法施行に伴う財務諸表等規則の改正(平成18年4月25日改正)により「繰延ヘッジ利益」を純資産の部の評価・換算差額等の分類へ区分掲記したことによるものであります。

○ 添付資料

1. (要約) 四半期貸借対照表 2. (要約) 四半期損益計算書

以上

[参 考]

平成19年3月期の業績予想(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	2,550	485	285
通 期	5,300	970	400

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 24円55銭

[業績予想に関する定性的情報等]

- 現時点におきましては、平成18年5月24日の決算短信(非連結)にて発表いたしました業績予想に変更はありません。
- 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により異なることがあります。

【添付資料】

1. (要約) 四半期貸借対照表

科 目	当四半期 (平成 19 年 3 月期 第 1 四半期末)		(参考) 平成 18 年 3 月期	
	金 額 (千円)	構成比 (%)	金 額 (千円)	構成比 (%)
(資産の部)				
I 流動資産				
現金及び預金	1,695,687		1,864,232	
受取手形及び売掛金	1,423,053		1,360,091	
有価証券	423,788		336,377	
買付有価証券	1,236,899		1,255,406	
たな卸資産	969,172		1,009,577	
繰延税金資産	56,700		56,700	
未収入金	58,232		633,848	
コモディティ・スワップ等	554,373		331,507	
その他	150,626		123,794	
貸倒引当金	△ 65,446		△ 65,446	
流動資産合計	6,503,088	58.5	6,906,088	60.5
II 固定資産				
有形固定資産				
建物及び構築物	186,512		192,300	
機械装置及び運搬具	348,102		362,871	
土地	2,506,900		2,516,120	
その他	38,056	3,079,572	40,797	3,112,088
無形固定資産				
ソフトウェア	10,500		11,227	
電話加入権	2,810	13,310	2,810	14,037
投資その他の資産				
長期性預金	200,000		200,000	
投資有価証券	1,099,061		1,011,502	
長期貸付金	180,402		180,402	
更正債権等	—		2,085	
その他	96,797		54,338	
貸倒引当金	△ 55,150	1,521,110	△ 57,235	1,391,093
固定資産合計	4,613,993	41.5	4,517,220	39.5
資産合計	11,117,081	100.0	11,423,308	100.0

科 目	当四半期 (平成 19 年 3 月期 第 1 四半期末)		(参考) 平成 18 年 3 月期	
	金 額 (千円)	構成比 (%)	金 額 (千円)	構成比 (%)
(負債の部)				
I 流動負債				
支払手形及び買掛金	1,023,863		1,046,178	
短期借入金	—		50,200	
1年以内返済予定の長期借入金	230,050		230,050	
1年以内償還予定の社債	360,000		360,000	
未払金	1,352,692		1,752,445	
未払費用	248,135		38,294	
未払法人税等	3,414		114,069	
未払消費税等	24,130		1,582	
未払配当金	21,529		—	
前受金	2,843		681	
預り金	12,665		5,326	
賞与引当金	137,551		81,319	
製品補償引当金	126,970		157,414	
繰延ヘッジ利益	—		331,507	
流動負債合計	3,543,847	31.9	4,169,067	36.5
II 固定負債				
社債	510,000		540,000	
長期借入金	445,430		505,880	
再評価繰延税金負債	967,404		967,404	
繰延税金負債	2,981		2,531	
退職給与引当金	778,964		778,964	
固定負債合計	2,704,780	24.3	2,794,780	24.5
負債合計	6,248,627	56.2	6,963,847	61.0

科 目	当四半期 (平成 19 年 3 月期 第 1 四半期末)		(参考) 平成 18 年 3 月期	
	金 額 (千円)	構成比 (%)	金 額 (千円)	構成比 (%)
(資本の部)				
I 資本金	—		2,315,000	20.3
II 資本剰余金	—		32,470	0.3
III 利益剰余金	—		597,864	5.2
IV 土地再評価差額金	—		1,451,107	12.7
V その他有価証券評価差額金	—		68,244	0.6
VI 自己株式	—		△ 5,225	△ 0.1
資本合計	—		4,459,460	39.0
(純資産の部)				
I 株主資本				
資本金	2,315,000	20.8	—	
資本剰余金	32,470	0.3	—	
利益剰余金	516,255	4.6	—	
自己株式	△ 5,225	△ 0.0	—	
株主資本合計	2,858,500	25.7	—	
II 評価・換算差額等				
その他有価証券評価差額金	4,472	0.0	—	
繰延ヘッジ損益	554,373	5.0	—	
土地再評価差額金	1,451,107	13.1	—	
評価・換算差額等合計	2,009,953	18.1	—	
純資産合計	4,868,453	43.8	—	
負債、純資産合計	11,117,081	100.0	11,423,308	100.0

2. (要約) 四半期損益計算書

科 目	当四半期 (平成19年3月期 第1四半期末)			(参考) 平成18年3月期		
	金 額 (千円)		百分比 (%)	金 額 (千円)		百分比 (%)
I 売上高		1,187,632	100.0		5,149,854	100.0
II 売上原価		837,221	70.5		3,949,315	76.7
売上総利益		350,410	29.5		1,200,539	23.3
III 販売費及び一般管理費		217,875	18.3		896,276	17.4
営業利益		132,535	11.2		304,262	5.9
IV 営業外収益		14,273	1.2		508,467	9.9
V 営業外費用		157,973	13.3		51,302	1.0
経常利益又は経常損失 (△)		△ 11,163	△0.9		761,427	14.8
VI 特別利益		1,805	0.2		273,107	5.3
VII 特別損失		21,139	1.8		506,469	9.8
税引前四半期 (当期) 純利益又は純損失 (△)		△ 30,498	△2.5		528,065	10.3
法人税、住民税及び 事業税		2,232	0.2		108,691	2.2
法人税等調整額		—	—		△ 56,700	△1.1
四半期 (当期) 純利益 又は純損失 (△)		△ 32,730	△2.7		476,074	9.2